



DOMINEX

微細封孔ナノ骨格膜

殻で守る時代から、肌そのものが自立して守る時代へ。

DOMINEX 微細封孔ナノ骨格膜

No glamour, just protection. ようこそ、本職の世界へ。

既存の概念 | 「厚膜ネットシェル構造」とは

これまでの常識「殻（シェル）で守る」

- 正体：従来の硬化系コーティング剤の正体は、塗装の上に「網目状の厚い殻」を乗せること。
- メカニズム：殻が「身代わり」となって傷を受け止め、消耗していく。
- 限界：「厚み」が安心感の源泉ですが、それは「殻が割れたら終わり」という脆さと隣り合わせです。



FIGURE 1: THICK-FILM SACRIFICIAL SHELL MECHANISM – FRACTURE POINT ANALYSIS

新しい概念 | 「微細封孔ナノ骨格膜」とは

DOMINEXの正体「面で自立して守る」

- 正体：DOMINEXは、上に「乗せる」ことを目的としません。
- メカニズム：塗装表面の微細なスキマ（ピンホール領域）を抱え込み、極薄のまま面として自立する「自己支持骨格層」を形成します。
- 真価：厚さでごまかさず、圧倒的な「密度」と「まとまり」で地盤を固めます。

CONCEPT DIAGRAM: MICRO-PORE SEALING NANO SKELETON STRUCTURE



「板を敷く」か、「地盤を固める」か



従来（厚膜ネットシェル）



DOMINEX（自己支持骨格）

ぬかるんだ田んぼに「板」を敷いて歩く発想。
板の厚さが命であり、板が割れれば泥が出る。

田んぼにセメントを流し込み、「地盤」そのものを固める。
何かを乗せるのではなく、土台を変える。

守り方の次元が違います。

製品特性 | 水性セラミックである意味

完全無溶剤・水性セラミック

- ・非常識：「水性＝弱い」という常識を捨ててください。
- ・非攻撃性：DOMINEXは、塗装への攻撃性（アタック）をゼロにするため、完全無溶剤で設計されています。
- ・必然：溶剤で溶かして無理やり食いつかせるのではなく、密度で抱え込むからこそ、無溶剤で成立します。



施工特性 | 傷を入れずに、骨格を入れる

湿式施工の必然性

- ・ リスク回避：硬化系コーティング施工の最大のリスクは、塗り込み時の「施工傷」です。
- ・ 湿式施工：DOMINEXは「湿式施工」専用。水というクッションを使いながら、摩擦ゼロの状態 で骨格を形成します。
- ・ 対象：これにより、最もデリケートな塗装（新車202ブラック等）にも、ノーリスクで硬化層をインストール可能です。



仕上がりの美学 | 盛るより、整えろ。

- No Wet Look：派手な油っぽい艶や、演出された撥水を求めないでください。
- Ceramic Look：DOMINEXが目指すのは、段差感のない「静かな面」。
- 定義：塗装の肌が整い、乱れにくい状態こそが、本職が考える最強の美観です。



運用のルール | 混ぜるな、純度を上げる。

- ・システム純度：DOMINEXは、地盤を変える製品です。異物を混ぜて、この骨格を濁らせないでください。
- ・100点の景色：その上に乗せるもの、下に入れるもの。システム（純度）が統一されて初めて、GANBASSが見せたい「100点の景色」が見えます。



結論 | 厚みで語る時代からの脱却

厚い殻に安心感を求めるのも一つの正解です。否定はしません。

しかし、肌そのものを自立させ、密度で守るという「別の頂（いただき）」があります。

それが、DOMINEXです。



GANBASS

No glamour, just protection.